

お知らせ

◆2023年 オンライン新年会

恒例の新年会を、昨年に引き続きオンラインで開催します。

日時 1月28日(土) 14時～16時

全国の会員が親睦を深める機会です。福引による景品(遠藤周作の本など)も用意してあります。

申込先 Eメールでお申込みください。Shusaku_club@yahoo.co.jp

申し込みされた方へは1月20日前後に事務局から参加のためのURLをお送りします。パソコンやスマホが苦手な方も、これを機に、ぜひリモートの会をご体験ください。

◆遠藤周作・生誕100年記念イベント

長崎市遠藤周作文学館で行われる「生誕100年展」については、残念ながら周作クラブが長崎ツアーを組むことはできません。日程を左記に掲げますので、個人単位での参加をご計画ください。

2023年・長崎市での行事・予定

▼3月25日(土) 記念講演会・長崎市内ブリックホール

▼3月27日(月) より「生誕100年展」開催。(長崎市遠藤周作文学館)

※なお3月27日は遠藤周作の誕生日です。当日の午後には長崎市・出津教会(文学館の近く)で周作クラブ長崎主催「遠藤周作さんの誕生日を祝うミサ」(仮称)が行われる予定です。ミサに関するお問い合わせは、高尾直子(☎090・4991・7934)までお願いいたします。

◆遠藤文学原点の旅&文学セミナー

コロナ禍での中止が続いてきた「遠藤文学・原点の旅」は、来年も開催の見込みが立たない状況です。

ただし、「原点の旅」の勉強会である「文学セミナー」は、今年もオンライン形式で開催の予定(秋頃)です。で、また本欄でご案内いたします。

◆遠藤周作の新刊本

フランスの街の夜

—— 遠藤周作初期エッセイ

河出書房新社
定価1,980円(税込)

フランス留学から帰国後、作家として歩みはじめた若き日々。瑞々しさにあふれた初期エッセイ62篇。匿名コラム、直筆漫画も収録。単行本初収録の貴重な作品の数々! 解説は今井真理。お問い合わせは、河出書房新社編集部 太田美穂まで。m-ota@kawade.co.jp

(電話) 03・3404・8611
(FAX) 03・3404・1377

◆遠藤周作の関連本

日本キリスト教文学者ハンドブック
Handbook of Japanese Christian

Writer's
本年10月、右記の本(ヴァン・C・ゲッセル、マーク・ウィリアムズ、山根道公編集)がアメリカで出版されました。遠藤周作、曾野綾子、八木重吉、椎名麟三、三浦綾子、加賀乙彦など、キリスト教を文学作品で扱っている17人の日本の作家を紹介しています。遠藤周作論はゲッセル氏が、加賀乙彦論は今井真理氏が担当。全編英語で書かれています。日本でも購入可能です。価格 26,250円(左記に連絡すると卸売価格で購入できます)

◆町田市民文学館が、2023年度・遠藤周作展への寄附を募集しています

町田市では、来年10月から12月に町田市民文学館で開催予定の生誕100年記念遠藤周作展に向け、「ふるさと納税」を活用して寄附を募っています。

期間は2023年1月5日まで。ふるさと納税の仲介サイト「ふるさとチョイス」で申し込めるほか、専用リーフレットの「寄附申出書」に必要事項をご記入の上、郵送にて

訃報

◆去る七月十五日午前九時四十八分、周作クラブ役員(旅行担当)の福田祐泰さんが、肺血症のため永眠されました。長年「原点の旅」の企画に携わって下さり、旅の際には皆様へ細やかなご配慮をいただきました。心より感謝申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

＊編集後記＊

▼ついこの間まで暑い夏が続いていたように思いますが、いつの間にか枯葉が舞う季節となり、今年も残りあと二カ月足らずとなりました。新年を迎えると、小生は傘寿となります。一月十五日が誕生日で、満八十歳となります。

▼遠藤先生は七十三歳で身罷られましたので、先生よりは十分長生きをしました。とはいえ、年齢を重ねたに過ぎません。先生が傘寿まで生きられたら、傑作が、何作か増えたに違いありません。

▼宮辺尚さんの連載「劇団樹座の三十年」は「樹座おおいだ」をめぐるあれこれ。樹座公演といえ、恒例のラインダンスを思い出します。老若入り混じつてのダンスは樹座の名物となりました。

▼一田さんの寄稿文も興味深いものでした。さて、今年も残りあとわずか。どうぞ皆さん、よいお年を... (颯)

「周作クラブ」第89号

2022年11月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
Eメール Shusaku_club@yahoo.co.jp